

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 20 年 9 月 11 日 (2008.9.11)

【公開番号】特開 2005-280287 (P2005-280287A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2004-101731 (P2004-101731)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

G 0 9 F 3/00 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 15/08 E

G 0 9 F 3/00 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 7 月 25 日 (2008.7.25)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

特定の周波数の電磁波に共振する共振ラベルであって、
 合成樹脂フィルムと、

前記合成樹脂フィルムの一方向の面に形成された、誘電コイル部とコンデンサの第一の電極を構成する電極部を含む第一の金属箔よりなる第一の回路と、

前記合成樹脂フィルムの他方向の面に形成された、コンデンサの第二の電極を構成する電極部を含む第二の金属箔よりなる第二の回路、とよりなり

前記金属箔と前記合成樹脂フィルムは互いにポリオレフィン系接着剤でラミネートされた共振ラベル。

【請求項 2】
 合成樹脂フィルムがポリプロピレンフィルムである請求項 1 の共振ラベル。

【請求項 3】
 ポリプロピレンフィルムが延伸ポリプロピレンフィルムである請求項 2 の共振ラベル。

【請求項 4】
 延伸ポリプロピレンフィルムの厚さが約 15 μm 以下である請求項 3 の共振ラベル。

【請求項 5】
 前記第一及び第二の金属箔がアルミニウムよりなる請求項 1 の共振ラベル。

【請求項 6】
 前記第一及び第二の金属箔が銀よりなる請求項 1 の共振ラベル。

【請求項 7】
 前記第一及び第二の金属箔が銅よりなる請求項 1 の共振ラベル。

【請求項 8】
 合成樹脂フィルムを用意し、
 前記合成樹脂フィルムの一方向の面に第一の接着剤を塗布し、
 前記第一の接着剤に第一の金属箔を接着し、
 前記合成樹脂フィルムの他面に第二の接着剤を塗布し、
 前記第二の接着剤に第二の金属箔を接着して積層材となし、

前記積層材をエッチング工程に供して第一及び第二の金属箔の回路以外の部分を除去してＬＣ回路を形成することによる、

特定の周波数の電磁波に共振する共振ラベルの製造法であって、前記第一及び第二の接着剤はポリオレフィン系接着剤である製造法。

【請求項 9】

合成樹脂フィルムがポリプロピレンフィルムである請求項 8 の共振ラベルの製造法。

【請求項 10】

ポリプロピレンフィルムが延伸ポリプロピレンフィルムである請求項 9 の共振ラベルの製造法。

【請求項 11】

延伸ポリプロピレンフィルムの厚さが約 15 μm 以下である請求項 10 の共振ラベルの製造法。

【請求項 12】

前記第一及び第二の金属箔がアルミニウムよりなる請求項 8 の共振ラベルの製造法。

【請求項 13】

前記第一及び第二の金属箔が銀よりなる請求項 8 の共振ラベルの製造法。

【請求項 14】

前記第一及び第二の金属箔が銅よりなる請求項 8 の共振ラベルの製造法。

【請求項 15】

合成樹脂フィルムを用意し、

第一の金属箔の片面に第一の接着剤を塗布し、

第二の金属箔の片面に第二の接着剤を塗布し、

第一の接着剤を塗布した第一の金属箔と第二の接着剤を塗布した第二の金属箔を前記合成樹脂フィルムのそれぞれの側に接着して積層材とし、

前記積層材をエッチング工程に供して第一及び第二の金属箔の回路以外の部分を除去してＬＣ回路を形成することによる、

特定の周波数の電磁波に共振する共振ラベルの製造法であって、前記第一及び第二の接着剤はオレフィン系接着剤である製造法。